

8月24日(火曜日)

ドル/円

催促相場入りとなるか

23日(月)の主な推移

チャート: 30分足 23日(月)朝7時 ~ 24日(火)朝6時

NYダウ平均

10174.41ドル

(-39.21ドル)

米長期金利
(10年債利回り)

2.5981%

(-0.0161%)

NY原油先物

73.10ドル

(-0.36ドル)



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所: 外為どっとコム

①

11時過ぎに菅首相と白川日銀総裁との電話会談が実施されたことが伝えられた。しかし為替介入の話はなく、円高対応策は伝えられなかったことから、ドル/円は失望売りにより一時85.30円まで下落する場面が見られた。

②

欧州時間に発表されたユーロ圏8月PMI製造業が市場予想を下回り、欧州経済が停滞していることが示されると、ユーロを売って円を買う動きが強まりドル/円も合わせて下げた。また菅首相と白川日銀総裁からの電話会談にて、具体的な円高対策が出なかったことが改めて意識されると、ドル/円は下値を試す動きとなり、20時過ぎに85.09円まで下落した。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加緩和観測
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 84.60— 85.60円

本日は米国にて7月中古住宅販売件数の発表が予定されている。今回の事前予想は465万件となっており、前月の537万件より大幅な下落が見込まれている。市場では米経済の減速懸念が重くのしかかっていることから、仮に事前予想にすら届かない場合はドル売りへとつながりやすく、ドル/円には下落圧力がかかると見られる。一方で前月並みの数値となるなどサプライズ的な増加とならない限り、ドル買いにはつながりにくいのではないかと見られる。

昨日の政府と日銀との電話会談では円高対策が出てこなかったことにより、市場の失望を誘う結果となった。これにより日経平均株価の9000円の大台割れや、ドル/円の84.71円(8月11日安値)割れを試すことで、日銀や政府に対して円高対策を含む総合経済対策を迫る相場展開となることも予想される。これらのポイントを割り込んだ際、政府や日銀の出方に注目したい。(川畑)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
8/24(火)	23:00	○	(米) 7月中古住宅販売件数	537万件	465万件
	23:00		(米) 7月中古住宅販売件数 [前月比]	-5.1%	-13.4%
	23:00		(米) 8月リッチモンド連銀製造業指数	16	8
	26:00	○	(米) 2年債入札(370億ドル)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com